

「生きがいと 地域のニーズを 結びます」
・地域に活かそう 豊かな知識と経験を！ ・あなたと歩む 地域と生きる

静岡県シ連だより



「世界かんがい施設遺産」登録
H28.11.8 源兵衛川（三島市）



「日本自然夜景遺産」登録 H28.8.3
（静岡市清水区：日本平）
写真提供：静岡県観光協会

梅花藻

第37号 も く じ

- 会長挨拶 2
- 法制化30周年記念被表彰者及び被表彰センター 2～4
- 連合会の取組み 5～7
 - 第36回定時総会開催と平成28年度事業計画
 - 新総合事業
 - 高齢者活躍人材育成事業
 - 安全・適正就業推進事業
- 会員拡大に向けて・他県シルバー人材センター訪問 8
 - 蒲郡市・安城市・長浜市シルバー人材センター

発 行 者

（公社）静岡県シルバー人材
センター連合会

〒420-0851

静岡市葵区黒金町5番地の1
（静岡県勤労者総合会館4階）

TEL (054) 254-7240

FAX (054) 205-4540

E-mail shizuren@abelia.ocn.ne.jp

発行日 平成29年3月1日

発行人／勝 又 武 利

編集人／増 田 久 幸

会員の皆様へ



静岡県シルバー人材
センター連合会
会長 勝又 武利
(沼津市SC)

会員の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。
私は、昨年六月に連合会の会長に選任されました。どうぞよろしくお願い致します。

我が国人口が、平成二十年をピークに減少を続ける中で、地域社会の活力を維持し、経済の成長を実現するためには、女性や高齢者等の雇用を促進していくことが不可欠であります。

こうしたことから政府では、高齢者をはじめ、すべての人が活躍するための一億総活躍社会の実現を目指した施策を展開しています。

静岡県内のシルバー人材センターでは、高齢者の就業に対する多様な希望に対応するため、就業開拓に努めるとともに、従来からの請負を基本としつつ、派遣事業や職業紹介事業などに取組んでいるところです。

こうしたセンターにおける積極的な事業推進や、高齢者の就業への期待を背景に、昨年度の会員数が二一、七六七人と五年ぶりに、就業延人員も九年ぶりに増加に転じたほか、契約金額は約一〇三億円と二年連続で増加したところであります。

今後とも、一人一会員入会をテーマに掲げた会員拡大と一層の就業開拓に努めてまいりたいと考えております。

引き続き、会員の皆様には、これまでに培われた技術や経験を活かしながら安全で適正な就業に努められ、健康で生きがいを持った生活を送られますとともに、シルバー人材センターに対して積極的なご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

*勝又会長も法制化30周年記念表彰を受けました。

※ シルバー人材センター法制化30周年記念行事に係る被表彰者の皆さん ※

「高齢社会の中核となる
組織への期待」

静岡県SC連合会 前会長
伊東市SC 前理事長
大村 脩平



法制化三十周年を迎えましたこと、一会員として大変喜ばしいことと感じており、また、このタイミングで表彰を受けることになりましたことは、大変ありがたく光栄に存じております。
一九七五年、東京都で高齢者事業団として生まれてから全国的に広まり、一九八〇年より高齢者に対し就業機会を提供する団体を育成する自治体に国庫補助が行われるようになり、一九八六年に法制化されたシルバー人材センターとされます。
請負事業に派遣事業が加わり、今後ますます高齢社会の中心的な組織に発展することを心より期待するとともに、会員として協力していきたいと考えております。

「目標を掲げて
事業の拡大」

清水町SC 前理事長
古川 康男



清水町シルバー人材センターに在籍し、十六年になりました。当センターは、県下で小規模な存在ですが、事業目標として「会員の増員、就業機会の拡大、安全作業の推進」と三点を基軸に定め、その成果として、対前年度を上回る右肩上がりの実績を作り上げてきました。これも、ひとえに行政並びに関係各位のご支援とご尽力があり、加えて会員と役職員の努力と協力の賜だと思えます。
超高齢化・少子化が同時に進行する社会にとって、「福祉の受け手から社会の担い手」になる力が必要とされています。これからの時代の要請に応えられるセンターとして、さらに躍進されることを祈念いたします。

「事故のないセンターを
目指して」

袋井・森地域SC
前理事長
鈴木 弘



シルバー人材センターの法制化三十周年にあたり、今回表彰を受けることになり大変光栄に存じております。私は平成九年六月よりシルバーの事務局にお世話になり、以後、十八年六月から理事長として十年勤めて参りました。この間、会員や役職員の皆様に助けて頂きなんとか職務を果たすことが出来ました。
私は理事長に就任以来、安全就業を徹底するために機会あるごとに会員に訴えてきました。事故を起こして一番痛い目にあうのは本人であり、また就業先のお客さんにも迷惑をかけてしまいますので、理事長就任中は事故を起こさないことを目標としてきました。

「大きな転換期での
貴重な経験」

御殿場市SC 前理事長
菅沼 弘之



この度、センター法制化三十周年において表彰をいただくことは、このうえない光栄であり、大変な喜びを覚えるところでございます。
この間を振り返りますと、シルバーにとり大きな転換期であったと思います。リーマンショック、事業仕分けに始まり、公益法人への移行、派遣事業等大きな節目のときに関わりを持つことができたことは、貴重な経験でありました。
そして、我が国が経済的に発展していく為にも、健康で元氣な高齢者が必要不可欠で、その意味でもセンターの果たす役割は大きなものがあると思います。ありがとうございます。

シルバー人材センター法制化30周年記念行事に係る被表彰センター

高齢者に対する支援事業を推進

伊豆市シルバー人材センター

伊豆市シルバー人材センターは、平成十六年に四町SCが統合しましたが、設立時の会員数三九二名が三一六名となり、この減少傾向に歯止めをかけるための方策に苦慮している状況です。

その様な中、本年度より、地域社会の維持・発展と会員の就業機会の確保を目的に、高齢者を対象とした介護保険・日常生活支援総合事業の介護保険適用外部分（家事援助）について、関連団体との一体的なサービスの提供を行っています。

また、農地・墓地等の管理維持に支障をきたす高齢者や市外者に対する定期的なサービスの提供を実施するとともに、伊豆市ふるさと納税の返礼メニュー化（墓地管理は認定済み）を進め、ふるさとしてある素朴な自然に囲まれた伊豆市をいつまでも残す為、国の新補助事業「地域就業機会創出・拡大事業」の採択を受けたことを契機に、当事業の継続・定着化を目指し進めております。



就業機会拡大のための三つの戦略展開

長泉町シルバー人材センター

この度の受賞は、地域の皆様や関係諸団体のご支援・ご協力をはじめ、歴代役職員のたゆまぬ努力と会員の皆様のご尽力によるものと改めて感謝申し上げます。

さて、長泉町シルバー人材センターでは就業機会の拡大・開拓のため三つの戦略を掲げました。戦略①「会員一人一仕事紹介事業」 戦略②「入会希望者勧誘・紹介事業」 戦略③「いい仕事してますか！自己評価の実践」など、仕事を待っているのではなく打って出る事業を行っており、僅かながらその効果が表れ、契約額が右肩上がりが増えております。

一方、会員増加は喫緊の課題で、会員の高齢化や技能職の後継者不足が懸念されます。

今後も引き続き、誠実な仕事でお客様に信頼されるセンターを目指し、会員の皆様と共に、更なる事業展開を図ってまいります。



設立二十周年に向けて

清水町シルバー人材センター

清水町シルバー人材センターは、平成元年五月二日に清水町シニアセンターの一室で会員五十人余からのスタートでした。

設立当初は、行政の支援と会員の皆様のご協力が何よりの支えであり、弱小のシルバー人材センターには静岡県シルバー人材センター連合会は心の拠り所でありました。このような経過の下、先ず町内の各地を回りシルバー人材センターの仕事を知ってもらうことから始め、事務局総出で説明会を開催しました。

このような歴史を経て、当初の会員五十人余から現在では二四〇人余の会員が活躍できるような体力もつけ、歴代の理事長や事務局長のご尽力に感謝しつつ健全な運営に邁進しているところです。

一方、会員の中には当初に登録された方が現在も活躍されており、共に設立三十周年の記念を心待ちにしているところでもあります。

結びに、これまで運営をご支援いただきました関係各位と健康な会員各位のご協力によりまして、更なる事業の発展と「安全第一」をモットーに丸となつて邁進していきたいと思っております。



※ シルバー人材センター法制化30周年記念行事に係る被表彰センター(2) ※

お飾り作りで伝統文化の継承

小山町シルバー人材センター



小山町シルバー人材センターは、平成十年から互助会事業の一環として、しめ縄作りの講習会から始まり、主に会員向けに販売をしてきましたが、事業の拡大に伴い平成二十二年に会員有志による『お飾り作り委員会』を発足させ、現在に至っています。

今年度は十九人のメンバーで、八月の暑い中で青田刈りした稲を天日干して、玄閼飾り・ごぼう締め・輪飾りを作るとともに、最近では住宅事情に合わせて、リース状の玄閼飾りも製作しています。

会員対象の講習会の他に、小学校・父兄会等の要請で出前の講習会を開催するなど、伝統文化の継承にも努めています。



事業目標の設定で成果を上げる

焼津市シルバー人材センター



焼津市シルバー人材センターは、平成二十五年度より事業改革に取り組み、今年度より第二次事業改革に入りました。

主な中身としては、会員数、就業率、事故件数、契約額、ボランティア参加など目標値を決めて、会員・役職員一丸となりポイントカード制度等を導入し取り組んでいます。会員の熱心な口コミの甲斐もあり会員数は、千七人に増加。女性会員は全体の三十六%となり、これは福祉事業の充実と今年度より取り組んでいる放課後児童クラブの事業拡大による就業機会の創出等、センター全員で取り組んでいる事が結果に結び付いています。私達は、既存の就業のみに留まらず、社会の動きや行政の施策に絡む事業提案をしていく事を大切に考えています。結果、相談や問合せをいただき新たな就業や委託事業に繋がっています。共働共助・自主自立の理念のもと、会員・役職員がそれぞれの役割をしっかりと果たしていく事が事業目標の達成と躍進に繋がると信じています。

ふれあいを楽しむシルバー事業

藤枝市シルバー人材センター



藤枝市シルバー人材センターは、会員の就業機会の拡大と耕作放棄地の活用を目的とした「シルバー農業事業」で、

もち米、サツマイモ、ブロッコリーの栽培に取り組んでいます。もち米は、地域の幼稚園児と一緒に田植えや餅つき大会をすることができると、子供たちとのふれあいも楽しみのひとつです。また、藤枝地区交流センターで行われた「ふれあいまつり」に参加し、「つきたてのお餅」を無料提供したほか、販売した「お餅」や「サツマイモ」は、午前中で全て完売するほどの大盛況でした。ふれあいまつりの展示部門では互助会クラブ活動の書道や写真の作品を展示したほか、会員募集やセンター事業の啓発活動も行いました。こうした活動は、センターの情報発信だけでなく、会員と地域の皆さんが直接交流を深めることができる有意義な活動と考えています。今後、新総合事業に参入するなど、地域に根ざした事業を推進し、魅力あるセンターの事業運営に努めてまいります。

地域社会での役割の発揮に向けて

牧之原市シルバー人材センター



牧之原市シルバー人材センターは、昭和六十二年九月に発足し、本年で三十周年を迎えることになりました。

これは、ひとえに会員皆様をはじめ関係各位の御理解、御協力によるものと感謝しております。

近年、様々な就業先やシルバー事業の代名詞とも言える屋外作業(除草・植木剪定等)も会員不足に陥って適切な対応ができない状況になっています。

高齢化が進んでいるのに会員数は減少してきており、また会員の高齢化も進んでいる今、地域社会で役割を発揮するためには会員確保、増強が必須だと考えます。

決定的な入会促進策はありませんが、理事、職員及び会員が一体となって粘り強く継続的に取り組み、粗入会率三・五%、男女比率五三・四七、就業率九七・六%を少しでも向上するよう努め、シルバー人材センターへの期待に応えていきたいと思っています。

静岡県シルバー人材センター連合会の事業取組み

平成二十八年 第三十六回定時総会開催



六月二十七日(月)、静岡県勤労者総合会館六階ホールにおいて、平成二十八年度定時総会が開催されました。大村脩平連合会会長の挨拶の後、来賓として静岡労働局長様、静岡県経済産業部長代理様他よりご祝辞をいただきました。

また、議長を選出し、まず理事会の議決事項である平成二十七年事業報告及び決算、定款の変更並びに、役員の選任について審議いただき、全会一致で承認されました。

総会の席上、長年にわたり連合会の会長、理事等としてご尽力頂いた各氏に表彰状・感謝状が授与されました。



平成二十八年 事業計画の主なもの

①公益法人への支援
公益社団法人の円滑な運営を推進するため、新任局長・理事長研修の開催。

②安全・適正就業推進事業
安全・適正就業委員会、研修会の開催と安全就業巡回訪問の実施。

③福祉・家事援助、支援事業
介護予防・日常生活支援事業(新総合事業)に関する取組み支援。

④派遣事業の推進
高齢者の就業の適正化を進めるための派遣元責任者講習会への参加、また、連合会での派遣契約・支払い事務集中処理の効率的な運用を推進するため派遣システム研修を実施、派遣就業会員のキャリアアップ講習も開催。

⑤普及啓発事業
シルバー人材センター事業に対する県民の理解を深め、協力を広げるとともに、シルバー人材センターの会員増強、就業機会の拡大を目指し普及活動を実施。

⑥調査研究事業
シルバー人材センター事業の推進に資するため、シルバー人材センター職員名簿・概要の作成、また、他県センターへの視察研修を実施。

⑦指導相談事業
シルバー人材センターを全シ協のマニュアルにそって調査指導を実施、また、労働局の行う経理及び適正就業指導調査について各センターに情報提供の実施。

⑧職業紹介事業
有料職業紹介事業届出事務所の管理・運用支援の実施。

⑨ブロック関係事業の推進
県内シルバー人材センターの東・中・西部のブロック毎に事務局長会議を置き、ブロック内センターの情報交換を促進。

⑩高齢者活躍人材育成事業
地域の高齢者が活躍できるように、地域のシルバー人材センターにおいて派遣・請負形態での就業を前提とした就業に必要な能力を身につけるための技能講習を開催し、高齢者の就業を支援。

介護予防・日常生活支援総合事業(新総合事業)

趣旨：高齢者の介護予防と自立した日常生活の支援を目的とした事業として、市町が中心となり、要支援1、2の人たちへの訪問介護と通所介護について市町が地域の実情に応じた取組ができる介護保険制度が、平成29年4月迄に実施する地域支援事業へ移行します。

静岡県内34SCのうち国庫補助対象31SCの取組状況(28年9月末現在)

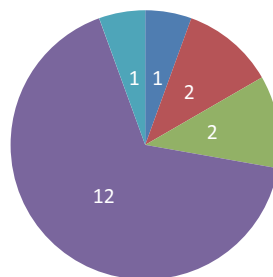
- 平成27年度又は平成28年度受託済みSCは、8SC(28年度以降受託予定含む)です。
- 事業種別は、訪問サービスAが5SC、訪問サービスBが3SC。契約形態は、委託5SC、事業者指定1SC、未定2SCです。
- 8SCのうち介護保険事業所3SC、地域支援事業実施4SC、市町独自の介護予防事業実施3SC、福祉・家事援助事業のみ実施3SCです。(重複回答あり)
- 事業参入希望SCは、15SCです。(右記グラフ参照)

新総合事業参入に向けての取組状況

東部地区のAセンターは、福祉・家事援助サービス分野で行政から委託事業(在宅のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯に対し、自立した生活を確保すること及び高齢者が永年住み慣れた社会の中で引き続き生活していくことを支援する)を永年にわたり受託している経緯と実績が認められ、新総合事業「訪問型サービスA」も29年4月受託予定です。

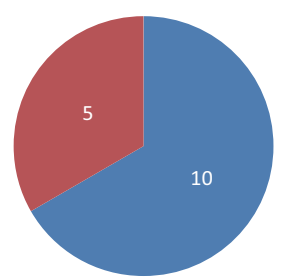
Aセンターでは、来年度の就業者不足を解消するため、今年度育成事業経費より行政所管公認2講習を6月広報誌と折込チラシで募集し、7月2講習を開催し修了者23名(うち新規入会予定者7名含む)は、行政より修了書を授与され、現在の委託事業で活躍しています。

現在のSCの状況(SC数)



- 介護保険事業所
- 地域支援事業実施
- 市区町独自の介護予防事業実施
- 福祉・家事援助事業のみ実施
- 何も実施していない

市区町への働きかけ(SC数)



- 協議体に参加
- 協議体未設置

高齢者活躍人材育成事業 (育成技能講習)

平成28年度 高齢者活躍人材育成事業

H28.12末現在

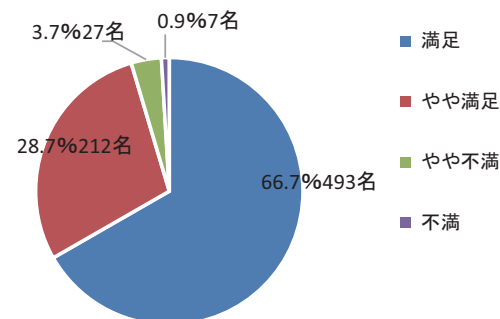
趣旨：(厚生労働省静岡労働局委託事業)

高齢化や労働力人口の減少が進行する中、人手不足分野や現役世代を支える分野での高齢者の就業の促進は、①高齢者の生活の安定、生きがいの向上、健康の維持・増進、②企業の人手不足の解消、③地域社会・経済の維持・発展等のために重要です。

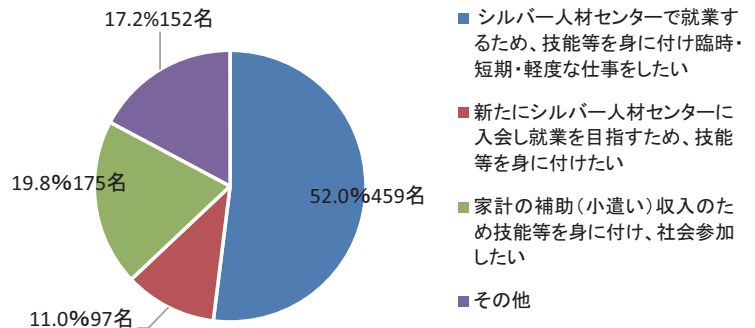
高齢者活躍人材育成事業は、シルバー人材センターが高齢者に当該分野で就業する機会を円滑に提供できるようにするため、県シルバー人材センター連合会が高齢者に当該分野での就業に必要な能力を身に付けさせる技能講習等を実施するものです。

区 分	講 習 名	開催講習数	申込者数	修了者数	修了状況対申込者
サ ー ビ ス 業	刈 払 機	9	194	186	95.9%
	植 木 剪 定	5	97	79	81.4%
	清 掃 ス タ ッ プ	2	34	26	76.5%
	調理スタッフ補助	1	9	8	88.9%
	襖・障子張り	1	20	18	90.0%
介 護 ・ 福 祉	乗用車運転診断	14	157	150	95.5%
	福祉家事援助	13	193	170	88.1%
	介護スタッフ補助	2	29	24	82.8%
警 備 業	駐 車 場 整 理	2	35	28	80.0%
一 般 事 務	接 遇	2	35	35	100.0%
	パ ソ コ ン 基 礎	2	15	15	100.0%
総 計		53	818	739	90.3%

問:この技能講習の満足度について(回答:739名)



問:この技能講習を受講された動機について(複数回答可883名)



もう他人事ではありません！あなたも狙われています！

静岡県内では平成28年11月末現在で311件(前年対比+27件)、約9億円(前年対比+約2億4千万円)の特殊詐欺の被害が発生しており、被害者の8割以上が65歳以上の高齢者となっています。

特に息子や孫を騙った**オレオレ詐欺**や、市役所職員等を騙る**還付金等詐欺**の被害が多くなっています。

犯人グループは個人情報に記載された名簿を活用してサギ電話をかけてきます。

次のことを忘れずに、被害に合わないようにしてください。

1. 本人以外には絶対にお金を渡さない！
～お金を渡すなら、必ず本人に手渡しで～
2. ATMへ行ってくださいと言われても、ATMには行かない！
～ATMで還付金などのお金を貰うことはできません～

大金を渡すな見破れ

ニセ息子！

オレオレ詐欺

- ☑ 息子や孫、孫などを騙ります
- ☑ 「今すぐにお金が必要」と言います
- ☑ 本人以外の者がお金を受け取りに来ます
- ☑ 警察官や全国銀行協会、弁護士を騙り、キャッシュカードを貸取に来る手口もあります

ATM 指示をされても行きません！

還付金等詐欺

- ☑ 市役所や社会保険事務所の職員を騙ります
- ☑ 「医療費や税金の戻りがある」と言い、ATMへ行くように言います
- ☑ ATMに行くと、相手の口強にお金を振り込んでしまいます

裁判だ脅し文句に慌てない！

架空請求詐欺

- ☑ 「孫や社員の購入権利や、老人ホームの入居権利を譲って欲しい、名簿を貸して欲しい」と言います
- ☑ 承諾すると「名簿貸しは返さず、警察に逮捕される、裁判になる」と言います
- ☑ サイトの利用料金をメール等で請求されます
- ☑ 「コンビニで購入できる電子マネーを購入し番号を送って」と言われます

手口を知って犯人のワナを見破ろう！

家族や知り合いの人に相談しましょう！

安全・適正就業推進事業



◆安全・適正就業推進事業の取り組み

安全・適正就業推進委員会において、安全・適正就業推進研修会や安全就業パトロールを企画・実施し、事故撲滅に向けて務めております。

◆安全・適正就業推進研修会

- ・日時 平成二十八年七月七日(木)
- ・場所 静岡労政会館六階大ホール
- ・参加者 一三二名

●基調講演

(テーマ)「高齢者の労働災害防止対策について」

(講師) 中央労働災害防止協会 中部安全衛生サービスセンター安全・衛生管理士 各務 博幸様

(内容) 転倒・腰痛・熱中症の予防、高齢労働者の人間特性を踏まえた安全管理について

●事例発表

(テーマ1)「安全・適正就業の取り組み」(発表者) 三重県名張市シルバー人材センター 安全指導員青木 茂様

(テーマ2)「草刈現場における安全対策について」(発表者) 焼津市シルバー人材センター 安全指導員の皆さん

全34SCに対して「安全就業パトロール」を実施します。

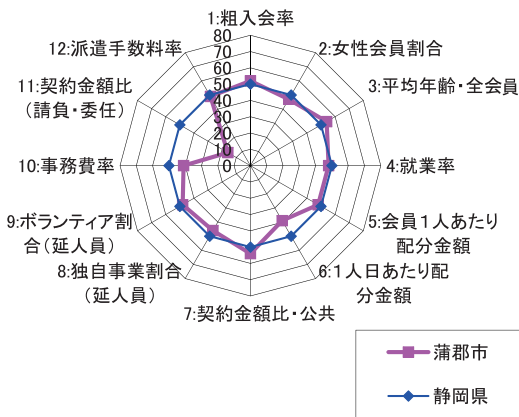
安全・適正就業委員会において、平成28年度から3年間で全34SCに対して「安全就業パトロール」を実施することを決定し、本年度は、8月から10月にかけて12SCでパトロールを行いました。

訪問先	内 容	訪問先	内 容
熱 海 市	会社敷地内にて草刈作業	焼 津 市	草刈り作業並びに車椅子の洗浄・磨き作業
伊 東 市	市役所敷地内にて草刈、植木剪定作業並びに公園内の草刈作業	島 田 市	工場内敷地にて植木剪定作業
伊 豆 市	個人宅の植木剪定並びに草刈作業	菊 川 市	工場内の草刈作業並びに資源物受取・整理作業
伊豆の国市	清掃センターのストックヤードにて資源ゴミの分解・選別作業	袋井・森地域	会社工場内の草刈作業並びに公園内の除草・草刈作業
富 士 市	個人宅にて植木剪定作業並びに個人所有の放置敷地内の草刈作業	浜 松 市	校庭内にて植木剪定作業並びに工場敷地内の除草作業
富 士 宮 市	キャンプ場周辺にて草刈作業	湖 西 市	葬儀場の敷地内にて除草作業並びに環境リサイクル工場にてビン・缶等の手選別作業
◎保護帽着用の徹底 ◎仕事の前日は十分な睡眠を			

〚行きも帰りも仕事のうち、交通事故に遭わないように！〚

会員拡大先進地の視察研修（調査研究）

蒲郡市SCの状況

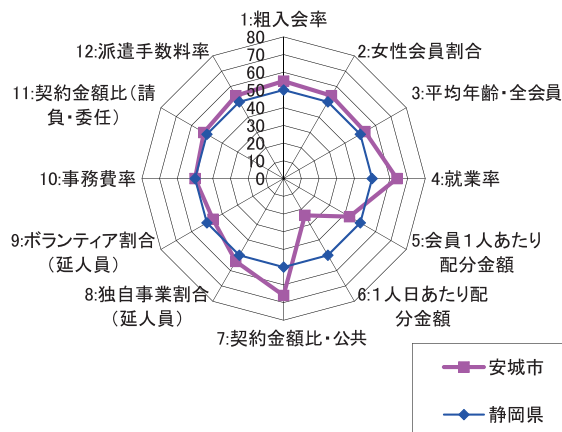


ている。連合会の調査研究委員会では、会員拡大における先進地の取組みについて視察研修を一月二六・二七日に実施し、各センターより二五名が参加した。視察先は、愛知県の蒲郡市SC、安城市SC、滋賀県の長浜市SCの三SCとした。



静岡県の平成二十七年度末会員数は、前年対比〇・四％増の二、七六七人であったが、センターを維持し、地域社会を支えていくために会員拡大が大きな課題となっ

安城市SCの状況

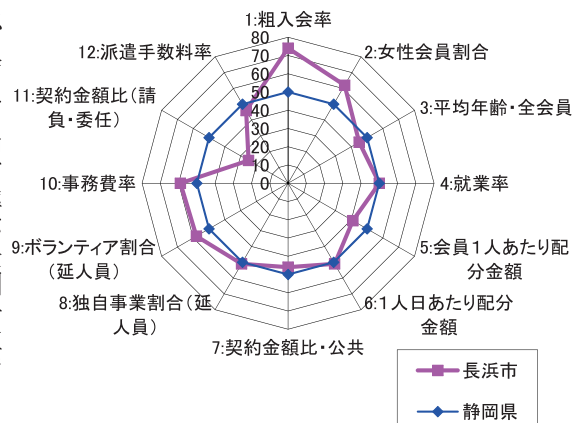


蒲郡市SCは、会員数は二七年度末で五二九名、前年比一〇％の伸びとなっている。分かりやすい説明会と丁寧な面接によって、説明会に参加した高齢者の入会率が高い。また、会員は、センターからの仕事の紹介を待っているのではなく、自主自立の理念に基づき、自らセンターに赴いて就業ファイル（受注した仕事内容を記したハローワークの求人票のような様式）の中から働きたい仕事を探している。

理事会を毎月開催しているため、理事会の承認なく働く会員はいない。第二火曜が説明会、第三火曜が理事会、第四火曜に会員証交付と、入会までテンポよく進んでいく。

安城市SCは、過去十年間ほぼ右肩上がりに会員数が増えていて、愛知県では会員増加率が一位である。会員数は二七年度末で九七五名、前年比二・四％の伸びとなっている。独自事業として、学習サポート「はばたき」やカフェ「赤いくつ」などがある他、職群班も就学前保育のゆりかご班、斎場で働く斎苑班など多岐に亘っている。また、児童見守り、用務員、除草など派遣で、一五〇名が就業している。会員募集を主眼に市全域を三年間

長浜市SCの状況



かけてボスティングする計画を立てている。その他、会員の互助会活動やサークル活動にも力を入れており、楽しみと仕事は両輪であるとの方針で運営をしている。

滋賀県は、会員の伸び率が全国一位であり、会員一〇〇万人計画の目標を二六、二七年度と達成している。また、派遣事業でもスパーマーケットにおける業務で、週二〇時間を超える要件緩和に全県で取り組んでいるが、長浜市SCは派遣としては伸びているものの、この要件緩和については実績がない。一市八町が合併しており、会員数は二七年度末で一、五一八名、前年比一・三％の伸び、粗入会率は三・八四％と高く全国九位、とりわけ女性会員割合が極めて高く四五％で全国五位、女性理事も四名いる。広域合併していることもあり、会員とは顔の見える関係を大切にしている。汚いきついシルバーの仕事を変えていく必要があるとの運営方針を持っていて、項目ごとに年間の取組み目標を決めて、現段階での達成割合などの評価を目に見える形で行っている。

今回、訪問させていただいたSCから、小さな事であっても役に立つ事柄を持ち帰り、運営に活かし共に発展していきたい。